

千葉県高等学校PTA連合会結成50周年

千葉県高等学校 P.T.A.連合会が結成されてから半世紀の節目を迎え、盛大に五十周年式典を開催することができました。

一言で半世紀と言いますが、今日この日を迎えるまで、先輩 P.T.A.の方々の大変な努力と子供たちのために労を惜しまないという熱い気持ちで、活動されつきましたことに深く感謝を申し上げます。また、この事業に対しまして、千葉県教育委員会並び

長協会のご後援をいただき、ご指導申し上げます。

貴連合会は昭和四十年に発足いたしましてから、五十年の長きにわたり、PTA活動を通して学校教育への支援や青少年の健全育成を目的として、千葉県高等学校PTA連合会が創立五十周年を迎えられましたこと、誠におめでとうございます。

この度、千葉県高等学校PTA連合会が創立五十周年を迎えたことを記念して、祝辞を述べさせていただきます。

本連合会の歩みは、高校教育施設設備の整備に始まる後援的性格を帯びた時代から、やがては、高校生の急増に伴う高校増設の時代を迎え、地域社会との連携強化が求められ、期待される社会教育団体として成長してまいりました。さらに、キャリア教育が推進される昨今、本連合会の果たさなければならぬ役割がますます大きくなっています。

努力と行動が築いてこられたものでこれらのご苦労に対し、心から感謝申し上げます。

本連合会は、多くの方々のお蔭で五十周年を迎えることができ、これからも六十年、七十年と續いていくように今できることを、未来に繋がることを展開していきます。

最後になりましたが、今回、本連合会結成五十周年記念事業が実施できましたことは、県教育委員会をはじめ、多くの皆様からご支援、ご協力をいたいたことと感謝申し上げ、会員皆様のご多幸を祈念しつつ千葉県高P連だより記念号発行のご挨拶といたします。

育振興部
課長 藤田 武

皆さまにおかれましては P.T.A 活動を通し、人間としての在り方や生き方の教育の推進、国際化への対応、生徒指導の充実強化、家庭教育の充実に関する啓発活動など、多岐にわたる活動を積極的に推進されてこられました。今後も今まで以上に、家庭・学校・地域の連携を深め、生徒が志を持つて学び、夢を持ち、社会の一員として成長できるよう御尽力いただきますようお願いいたします。

貴連合会の会員の皆さまには、創立五十周年を契機とされ、さらなる飛躍を目指し、新たな展望のもと、地域社会の要として、ますます御活躍されますことを御期待申し上げております。

結びに、千葉県高等学校 P.T.A 連合会のますますの御発展を心より祈念いたしまして、お祝いの言葉といたします。

記念式典にあたり

実行委員会 実行委員長 小高正之

ちば 高 連 だ よ う

第71号

千葉県高校PTA
連合会事務局
☎ 043(255)0687

ばならない役割も大変重たいものになつてきております。

さて、青少年をめぐるさまざま
な問題が取り上げられる中で、県

学校、地域、家庭の連携強化は、まさに千葉県が掲げている「生きる力」の育成にはなくてはならないものであります。そのプ

教育委員会では、教育振興基本計画で示しました魅力ある高等学校づくりを踏まえ、『県立学校改革推進プラン』を策定しております。

千葉県高P連五十周年を祝う

千葉県高等学校校長協会会長 大久保利宏

千葉県立幕張総合高等学校 校長

五十周年という輝かしい節目の年を迎えるましたことに対し心からお祝い申し上げます。貴会が発足した昭和四十年は、その前年に、東京オリンピックの開催、新幹線の開業といった年であり、日本高度成長時代の幕開けの時期でした。昭和四十年の日本の高校進学者数は約四百万人、進学率は約七十%でした。それから五十年後の現在、進学率は約九十八%になつたにもかかわらず、進学者数は四百万人を大きく下回るという大きな変化を示しています。大学進学率を見ても、当時は十三%ほどであったものが、現在は三倍を超えて四十%を越えています。この五十年間は高学歴志向が高まつたのも、この五十年間に高校新設ラッシュと、学校の統合という、相反する事業が行われ、まさに人口急増と、少子高齢化の波がボディープローのように襲いかかつた半世紀であったのかもしれません。

そうした中で、いわゆる「詰め込み」から「ゆとり」、さらに「脱ゆとり」など教育の質の転換も、「生きる力」などといった様々なスローガンのもとに図られ

一方で、教育は学校だけが担うという考え方から、子どもたちの成長は、学校、家庭、地域がそれぞれの役割を果たしながら、強い連携のもと進めなければならないという考え方が定着し、学校を経営する校長にとっては、この考え方には欠かすことのできない基盤となっています。

昨今、生徒、保護者は多様化し、子育て観や学校や先生との向き合い方なども、特に私達の年代の教職員にとっては、やや理解するのに時間がかかるケースが増えています。こうした中で、各学校のPTAによる学校への深い理解や献身的な協力は、私たち校長にとって大きな支えになっていますことは間違いないありません。

教員とともに実施される交通安全指導、電車内のマナー指導、親父の会などによる学習環境の整備など、貴会の発足当時から比べれば、より教育活動を支え踏み込んだ大きな力となっているPTA活動になっています。貴会では、こうした各学校の先進的な取り組みを紹介し、情報交換や交流を進められてきたことは、誠に有意義なものであると認識しています。

今後の十年間を予想すると、社



御講演をいただいた宇宙飛行士
山崎直子氏
(第58回関東大会千葉大会にて)

☆ 総会報告 ☆

高P連五十周年記念総会

県P連前副会長 岡 本 次 夫

(千葉県立千葉商業高等学校長)

平成二十六年度千葉県高等学校PTA連合会定期総会は、六月四日(水)千葉県教育会館大ホールにおいて、一三三校の二五八名が参加し開催されました。

田鎖副会長の開会の言葉で始まり、統いて小高会長が挨拶に立ち、十一月に実施予定の千葉県高等学校PTA連合会五十周年記念式典並びに平成二十八年度本県で開催が予定されている、第六十六回全国高等学校PTA連合会大会について協力の依頼がありました。

県立千葉高等学校大室宏子様が謝辞を述べられました。

その後、議事に先立ち佐々木事務局長より、全国、関東、千葉県の研究発表大会において優秀な発表をし貢献があった七名の表彰があり、また各単Pから推薦のあつた百十四名に感謝状が小高会長より贈呈され、受賞者を代表し千葉作知事からの祝電が披露されました。

議事つきましては、水野、澤畑副会長が議長を務め、平成二十五年度事業及び決算が承認された後、平成二十六年度の活動方針案、事業計画案、予算案が提案され可決承認されました。役員改選では、別記掲載の新役員が承認され、新役員を代表し大木幸夫会長(八千代高校)が全国大会(千葉

県大会)に向けての決意を含め挨拶されました。

行政説明は、県教育庁企画管理部教育政策課主幹兼教育立県推進室長込宮一之様から、「みんなで取り組む『教育立県ちば』プラン」並びに次期千葉県教育振興基金計画について、説明があり、澤畑副会長の閉会の言葉で総会は終了しました。

記念講演は、千葉大学教育学部保坂亨教授により「子どもから大人への移行支援」グレーブーンに立つ子どもたち」という演題で高校教育をめぐる現状を踏まえ、子どもの心理発達にふれ講演をいただき、価値のある時間を過ごし、全ての日程を終了いたしました。

会員の皆様、はじめまして。この

度、五月の総会で、二十六年度、会員の皆様、はじめまして。この

めなければならないと感じております。



会長就任にあたって

県高P連会長 大木 幸夫

(千葉県立八千代高等学校)

千葉県高等学校PTA連合会の未来をしっかりと見据える事から始まります。

うな千葉県高等学校PTA連合会にしたいと思います。そのためには、その姿を大人たちが見せなければなりません。目標のない大人ばかりに囲まれた中で、一人だけに「目標をもつて頑張れ!」と言つてもそこで現れる結果は見えています。しかし、夢に向かって頑張ります。

現の為に社会に巣立つて、いけるようになります。就任にあたり、ご挨拶を申し上げます。

PTA経験は高校で五年目とまだ経験不足で、器ではないことは、十分承知しておりますが、前任の小高正之様よりバトンを受け継いだものとして、子供達の為に、精一杯努力する所存です。

皆様方、何卒ご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願ひ申しあげます。

PTAの目的は家庭と学校が担っているそれぞれの役割を責任をもつて果たしつつ、緊密に連携を取り合い、さらには地域との連携も図りつつ、子供たちの健全育成を目指すことにあると考えております。

私達の学生時代と、今とでは、社会の様子も、価値観も大きく違っています。そんな子供たちに、育成に携わるという事は、数十年前の常識をそのままコピーリー

て伝えるのは危険です。ジャパン・アズ・ナンバーワンと言われていた時代に育った我々保護者が、今の時代をしっかりと理解し、

五十年の節目の年を迎えます。

これまで、千葉県の高校生を支えて頂いた全の方々に感謝をしたいと思います。

また、本年度は本連合会、結成

高等学校PTA連合会大会千葉大会の成功を夢の形として、頑張つて頂いたいた全の方々に感謝をしたいと思います。

会員の皆様には是非とも、積極的に行事にご参加いただき、ご指導、ご協力頂けますよう心からお願い申し上げまして、会長就任の挨拶とさせていただきます。



役員と理事校

★平成26年度★

事務局	小池 隆／鎌ヶ谷西P	金子 浩章／下	佐藤 �宰／若	吉野 正展／大多喜P	小川 輝男／下	深山 康彦／市	弓削 直樹／佐原白楊T	高橋 孝宏／元県連会長P	大久保利宏／高校長協会T	千葉 千葉女子・千葉東	市川 川工業・国府台	(松)戸 鎌ヶ谷西・県立松戸	(東葛飾)柏 陵・流	山 おおたかの森
事務局員	大木 幸夫／八千代P	菅澤 朱美／鎌ヶ谷西P	松下 総P	喜多喜P	原P	原P	T	P	T	東	台	戸	山	
事務局員	小池 隆／鎌ヶ谷西P	金子 浩章／下	佐藤 宰／若	吉野 正展／大多喜P	小川 輝男／下	深山 康彦／市	弓削 直樹／佐原白楊T	高橋 孝宏／元県連会長P	大久保利宏／高校長協会T	千葉 千葉女子・千葉東	市川 川工業・国府台	(松)戸 鎌ヶ谷西・県立松戸	(東葛飾)柏 陵・流	山 おおたかの森
事務局員	中村 幸子	杉本しのぶ	純	佐々木	佐々木	印旛下	総・富里	(東)総佐原白楊・小見川	(山)武松尾・成東	(長)夷大多喜・長生	(安)房安房・館山総合	(君)津君津・君津商業	(市)原市原・鶴舞桜が丘	

五年度の会長を務めさせていただきました、小高です。



一年間という短い時間ではありましたが、埼玉県での関東大会での代表校の発表や全国大会で山口県まで行き、他校のPTA役員や先生方と懇親を深められた事、成

にれり たるに提め演 グ P連 に P

さて、関東大会、全国大会に参加して気が付いたのは、子供を取り巻く社会情勢が非常に複雑に、思ひ出や感動を頂いたことが、日々のように目に浮かびます。

て分科会が行われました。私が参加したのは、全国高P連
研究発表の「進路選択と親子のコミュニケーション」でした。
まず、リクルート進学総研所長の小林浩氏より「高校生と保護者のコ
ミュニケーション」の講演を頂き、その後、男女高校
生、父親母親、先生という立場の五人で座談会形式でパネルディス
カッションを行いました。

親の思い、先生の思い、子供の
思いをそれぞれ聞き、共感したり、本音も聞けたり、さ
て、同じ高校生を持つ親として、
とても興味深い分科会でした。

他の各分科会も、いろいろな相
野からの発表が行われ、各会場は
熱気に包まれていました。

最後になりますが、私たゞ役員の方々の支えで、さつた県高P連の佐々木事務局長をはじめ、事務局員の皆様に感謝します。また、P.T.A.の皆様のご多幸、学校の先生方のご活躍、県高P連の益々の発展をご祈念して、私の退任の挨拶とさせていただきます。

ればならないと思いました

ればならないと思いました。

A photograph of a man in a dark suit and white shirt standing at a wooden podium on a stage. He is holding a microphone in his right hand and gesturing with his left hand. The background is a solid blue curtain. The stage floor is a light-colored wood.

A photograph of a cheerleading team performing on a stage. The team consists of approximately 20 members, mostly young women, dressed in blue and yellow uniforms. They are in various poses, some holding red pom-poms. The background shows a large screen and stage lighting.

全国高P連表彰受賞にあたり

県高P連前副会長 水野 恭成
(千葉県立浦安南高等学校)

出逢いに感謝

県高P連前副会長 澤畠智佳子
(千葉県立柏高等学校)

全国高P連表彰受賞にあたり

県高P連前監事 宮崎 祐一
(千葉県立木更津東高等学校前会長)

関東地区高P連表彰受賞にあたり

県高P連前会計 錦見 正治
(千葉県立九十九里高等学校)

全国高P連表彰受賞にあたり

全国高等学校PTA連合会大会
福井大会が八月二十二日~二十三日に盛大に開催され全国大会個人

表彰を受賞させていただきました。全国のPTAを代表される方々が一万人集まる当大会での受賞ということもあり緊張半分嬉しさ半分で頂戴してまいりました。会長をはじめとする県連役員の皆様と事務局の皆様に支えられながらの一年の締めくくりとしてはこの上ない感慨深さを感じました。ありがとうございました。平成二十八年に全国大会開催を控えた千葉県高P連の活躍を期待しております。

関東地区高P連表彰受賞にあたり

前PTA会長 小川 喜良
(千葉県立佐原高等学校)

関東高P連表彰受賞にあたり

前PTA副会長 加藤 正樹
(千葉県立木更津東高等学校)

関東高P連表彰受賞にあたり

前PTA会長 大室 宏子
(千葉県立千葉高等学校)

関東地区高P連表彰受賞にあたり

前PTA会長 丹吳 順子
(千葉県立松戸高等学校)

この度、全国高等学校PTA連合大会福井大会におきまして、全国大会会長表彰個人・団体の部にて表彰を戴きました。これもひとえに、県高P連事務局や役員の皆様に支えていただき、さらに本校の先生方、役員の皆様のご協力のおかげと感謝しております。不安で始まつたこの一年でしたが、たくさんの方々と出逢い、貴重な経験をさせていただき、大変充実しました。ありがとうございます。八年の全国大会千葉大会の成功を心より祈念致しております。

全国高等学校PTA連合会大会福井大会が八月二十二日~二十三日に盛大に開催され全国大会個人をはじめとする県連役員の皆様と事務局の皆様に支えられながらの一年の締めくくりとしてはこの上ない感慨深さを感じました。会長をはじめとする県連役員の皆様と事務局の皆様に支えられながらの一年の締めくくりとしてはこの上ない感慨深さを感じました。ありがとうございました。平成二十八年に全国大会開催を控えた千葉県高P連の活躍を期待しております。

関東地区高P連表彰受賞にあたり
前PTA会長 小川 喜良
(千葉県立佐原高等学校)
第六十回関東地区高等学校PTA連合会群馬大会におきまして、関東高P連表彰を戴きました。
これもひとえに、千葉県高P連役員及び事務局の皆様、並びに本校の役員や先生方にご支援とご協力をいたいたお陰と心より感謝申し上げます。今後も本校PTA顧問として、子供達がより良い環境の中での成長に、ひいては明るく元気な社会をつくることにつながるのだと思いま



ぐんまちゃん 25-161412

受賞者 喜びの声



第六十回関東地区高等学校PTA連合会群馬大会におきまして、関東高P連表彰を戴きました。これもひとえに、県高P連事務局及び関係各位の皆様に深く感謝申しあげます。PTAとは、保護者と先生方が学び合い、その成果を子どもたちに還元することです。とくに我が子のことに対する保護者と学校が互いの立場をよく理解し合い、連携を図ることこそ、子どもたちの成長に、ひいては明るく元気な社会をつくることにつながるのだと思いま

また千葉高校の先生方、役員の皆様には、いつも支えて頂き、本当に感謝しております。六年間のPTA活動の中で、最後のこの一年は、県P連の様々な活動の一端に関わることができ、充実した日々でした。千葉県高P連の益々のご発展と、全国大会千葉大会の成功を心より祈念し、御礼の言葉と致します。

わが校自慢 安全活動で文科大臣表彰を受賞

千葉県立市原緑高等学校 前PTA会長 木村ゆきみ

本校は、創立四十周年の節目に、「学校安全」活動による文部科学会員の協力あっての受賞です。

学校の先生方を始め、学校安全に携わってこられた地域の方々や県警、交通安全協会、歴代PTA会員の協力あっての受賞です。

学校近くに住む私は、緑高生のモラルの低さや交通違反による車との事故を何度も見てきました。

しかし、我が子が緑高に通うことになり、保護者としても、子供たちが安全に登校できるように協力しなくては」とPTA活動(生活委員会)に参加しました。PT

A・先生方・交通安全協会との合

同登校指導の際、生徒に注意するだけでは安全な登下校はできない

と気づき、自分ができることをやつてみようと考えました。環境工事を市役所に何度か要望しまし

た。その結果、改善され、通学路の雑草の草刈りや、道路の補修

全国大会広報誌掲示の様子



関東大会広報誌掲示の様子



ロック)を呼びかけてきました。

また、自転車の道路交通法が改正された際には、県警、交通安全協会による安全教室や講義・指導をしていただきました。



しかし、安全活動にゴールはありません。周りの大人たちとの連携が必要であり、継続も不可欠です。変わりゆく生徒の様子に関心を持ち、その時に合った指導方法を学ぶことも大切です。今後も、PTAの日々の活動の積み重ねで、生徒たちを守ることができれば喜ばしく思います。

その成果として、自転車事故や放置自転車が減り、遅刻して登校する生徒も見かけなくなりました。この結果から、①生徒による自立的な活動で向上心を高められること、②高校生としての生活態度

が改善され、落ち着いた学校生活が送れることを実感しました。多くの保護者の方から生徒の様子がだいぶ変わり、良かったとの声も聞きました。きっと生徒自身も感じていることだと思います。

国際化だより 多文化交流をとおして育む グローバルな視点

千葉県立市原緑高等学校教育研究会
国際教育研究部会長
(千葉県立東葛飾高等学校校長)

須 田 秀 伸

国際教育研究部会では、毎年PTA連合会から国際交流事業補助金という形でご支援をいただいています。当部会は高校生に対し、英語圏に限らず多くの文化圏の人々との交流をとおして、その中で自己や自分との相違点を理解(体感)し、グローバルな視点で国際理解につなげさせて行こうと考えています。



た。他校の友人ができた。また是非参加したい」と答えていました。生徒は、この交流、体験をとおして国際理解への一步を踏み出したのだと思います。

もう一つの高校生の参加行事としては、例年一月に行われる英語、日本語弁論大会があります。「日本語弁論部門」には、外国人留学生（高校生）が参加する部門もあり、日本人が気づかない視点からの素晴らしい弁論が展開されています。この弁論大会は、関東大会、全国大会へもつながっています。

今年度（平成二十六年度）は、八月十九日～二十一日、県内二十校から七十一人の高校生、外国人ゲストはアメリカ、ジャマイカ、中国、韓国、メキシコ、コスタリカ、ケニア、マリ、イラン等から十八人が参加して行されました。ほとんどの生徒が、「英語以外の文化圏についても理解が深まつ

て、これまで多くの千葉県の代表生徒が入賞しています。

また、来年度は全国国際教育研究大会千葉県大会が八月二十一日（木）二十一日（金）に開催されます。「多文化交流をとおして育むグローバルな視点」を大会テーマに神田外語大学を会場にして三〇〇人～四〇〇人規模の参加

♣ 特色ある生徒の活動

「77歳の高校生 宮内哲さん」

クラス担任 鈴木直規
(千葉県立木更津東高等学校)

「東京で夜学にでも通うよ」と約束した。仕事が忙しく約束はなかなか実現できなかつたがその言葉がずっと頭に残つており、現在の勉強への意欲を支えている。

◆ 特色ある生徒の活動

「77歳の高校」

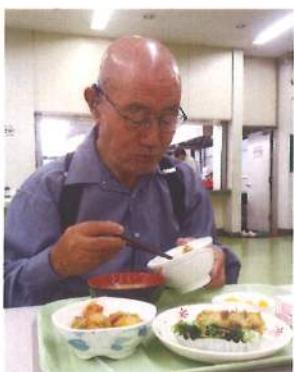


本人は元気にして、校へ通つて意欲的に学校生活を送っている。

宮内さんは新潟県出身で、戦争で出征した父親が七歳の頃に戦病死、貧しさで実家での生活が苦しくなり中学校卒業と同時に現役で頑張つて二年生

入生は本校では初めてのことでの担任として不安を覚えたこともあったが、そんな心配をよそに

A man wearing a helmet and dark clothing, sitting on a yellow and blue motorcycle at night. The motorcycle's headlight is illuminated.



編・集・後・記

ら」と謙虚な姿勢を崩さない。高校生活や卒業してからの目標を訊ねると、「自分がどこまでできるのか先のことはわからない。それでももし卒業出来たら若い人達に(学生生活は)自分の一生の宝になるのだからしっかり勉強してください」といふと、皆さまのご協力の下、五十周年を迎えたことに事務局一同感謝申し上げます。また、平成二十八年に行われる第六六回全国大会千葉大会に向けての準備がいいよいよ始まりました。次号より進捗状況をお伝えします。事務局 杉本

が、病気の妻を看病しながらの生活に少しでも時間を有効に使おうと原付バイクを購入した。耳の聞こえが悪く日常生活に補聴器が欠かせない中、座席を前方へ移動することを願いでたり、毎回授業にレコーダーを持ち込み、帰宅後に復習するなど努力を惜しまない。それでも本人は「年寄りだから色々と迷惑を掛ける。記憶も悪いし体育だって若い人達のように激しい運動はできない。ここまでやつてこられたのは先生方や同級生の皆さんのが親切にしてくれるかさんが卒業を迎えると八十歳になっている。体調管理はもちろん勉学への意欲を持続し続け、四年後に笑顔で卒業できることを期待している。



A black and white photograph of a man wearing a dark baseball cap and a dark jacket, sitting on a motorcycle at night. The motorcycle has a bright headlight illuminating the path ahead. The background is dark, suggesting it's nighttime.

語る。人生経験を積んだ宮内さんの言葉は説教じみた教員の言葉よりも重く、説得力がある。

宮内さんの存在は他の生徒へはもちろん、教員にとつても良い刺激となつてゐる。現役で高校へ入学した生徒は六十歳以上年が離れているが、「宮内さんを尊敬しているが、「宮内さんを尊敬している」といつた生徒も少なくない。教える側の私自身も、宮内さんにとって聞きやすい授業をと、授業内での言葉遣いや言い回しやスピードなどに注意を払うように

いきたい」と語る。

入学当初は自転車通学だった

なつた。